

の肺小細胞癌に対してCDDP, VP-16を投与し, 7日目に胸部圧迫感出現. 症例2は73歳男性. Stage III Bの肺腺癌に対してCDDP, VDS, MMCを投与し, 4日目に痙攣, 胸部圧迫感出現. 2例とも心電図変化などから冠攣縮性狭心症と診断された. 抗癌剤投与に伴う虚血性心疾患は比較的稀な副作用である. 冠動脈危険因子を有する症例に化学療法を行う際には予防的なカルシウム拮抗薬などの投与が必要かもしれない.

27. Chatelutの式によるCBDCAとVP-16併用療法を行った高齢者肺小細胞癌の1例

長崎大第2内科 川畑 茂
 福田 実, 寺師健二, 檜崎史彦
 中野令伊司, 長島聖二
 岡三喜男, 河野 茂

81歳男性で肺小細胞癌(T4N2M0, Stage III B, ED). CDDP+VP-16による治療を施行. VP-16は123mg/body(75mg/m², day1~3), CBDCAはtarget AUC=5, Chatelut式を用いて455mg/body(約290mg/m², day1)で治療開始. 副作用は制御内で4コース終了後効果はPRだった. 実際はAUC=4.2で高齢者に対してもChatelut法でCBDCA+VP-16の治療が安全に行えることが示唆された.

28. 当科における癌性心嚢炎の臨床的検討

琉球大第1内科

上原久幸, 東 正人, 澤岷安教
 中村浩明, 斎藤 厚

過去11年間に当科で経験した癌性心嚢炎11例について臨床的検討を行った. 男性6例, 女性5例, 年齢39歳~77歳, 原発性肺癌では腺癌7例, 肺扁平上皮癌1例, 小細胞癌1例, また悪性リンパ腫1例, 胸膜中皮腫1

例であった. 11例中9例で心嚢ドレナージが施行された. 2例は合併症及び進行性で全身状態が悪くドレナージは施行されなかった. ドレナージ後の生存期間は5~約300日であった.

29. 肺癌末期患者に対する在宅輸液 [IVH] 療法(HIT)及び在宅酸素療法(HOT)の検討

熊本地域医療センター呼吸器科
 西田有紀, 千場 博, 瀬戸貴司

宮川比佐子, 深井祐治
 同 訪問看護部 永木由美子
 当施設HOT施行例129例中42例(33%)を肺悪性腫瘍症例が占めた. 最終入院期間はHOT施行例平均25.8日と非施行例に比べ約半分の日数だった. 扁平上皮癌では全例で呼吸困難感・ADLが改善した. 在宅輸液療法を施行した原発性肺癌末期患者10例中, 5例(50%)が在宅死であったのに対し, HOTの多くは再入院後の死亡だった. 家庭での生活を延長させるためにはHITも有効であると思われた.

30. N2非小細胞肺癌に対する術前化学療法+放射線療法

久留米大呼吸器病センター外科
 高森信三, 田山光介, 林 明宏
 同 内科 白水和雄, 力丸 徹

大泉耕太郎
 同 放射線科 城 誠也
 藤本公則, 早瀬尚文

N2非小細胞肺癌に対する術前化学療法+放射線療法の交互交代療法の抗腫瘍効果と安全性を検討した. 当施設での縦隔リンパ節(N2)の正診率は87%(STIR-MRI)であり, この前提にてCDDP 80mg/m²(d1), VDS 3mg/m²(d1), IFO 1.5g/m²(d1-3)を投与し, 放射線照射を8日目より2.0Gyを10日間行いこれを2コース行った. 奏効率62%で, 17例中4例が脱落し1例は試験

開胸となり12例に完全切除が行われた.

31. 肺癌における特殊集学的治療

福岡大第2外科

岡林 寛, 白日高歩, 川原克信

白石武史, 岩崎昭憲, 吉永康照

肺癌の治療法選択は病期, 組織型を考慮して行われるが, 進行癌は再発癌に対してはQOLの改善・維持が治療の主眼となり, 他領域専門医の協力を得た様々な集学的治療が行われている. 最近行った特殊治療としてSVC症候群に対する血管内ステント, 上気道癌に対するBrachytherapyであるICRT, 脳転移にたいするGamma knife, 肝転移巣に対する経胸的マイクロターゼ焼灼等がある. これらの治療内容につき説明した.

32. 肺癌患者の好中球スーパーオキシド産生能における臨床的検討

九州大胸部疾患研究施設

阿部和明, 中西洋一, 高山浩一

斐 新海, 高野浩一, 井上孝治

綿屋 洋, 八並 淳, 川崎雅之

原 信之

癌患者で免疫応答能の低下を呈する者が見られる. リンパ系や単球系と比べ, 多核白血球の機能異常についての報告は少ない. 治療前肺癌患者170名についてスーパーオキシドを2種の方法で測定し, 患者背景因子との関連を検討した. PMA刺激で見られなかった反応性の変化が, WGA刺激では一部の因子で有意義を持って認められた. 肺癌患者では細胞膜受容体レベルでの好中球機能抑制に関する何らかの機序の存在が推測された.

33. 非小細胞肺癌における悪性胸水の臨床病理学的検討

熊本地域医療センター呼吸器科